

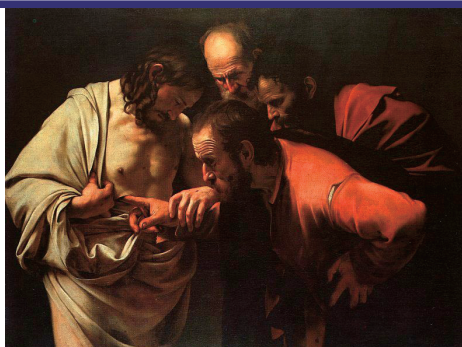


広報 なかわだ

第 378号

5 月の予定

教会委員会 5 月 8 日 (日)
信徒の会 5 月 15 日 (日)
子どもと共に捧げるミサ 5 月 22 日 (日)



The incredulity of St. Thomas (Caravaggio, 1601-1602)

2011年 5 月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1

Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 23 年 5 月 1 日



復活した主イエスの証し

主任司祭 小林 陽一

イエス・キリストの死後の 3 日目、その日は今で言う日曜日でした。 マグダラのマリアたちは、主イエスのご遺体を埋葬した墓に行ってみました。ご遺体はありませんでした。天使が婦人達のそばに現れて、「その方はここにはおられません。よみがえられたのです」と言いました。墓を出た婦人達は、使徒たちのもとに行き、その事を知らせましたが、信用されませんでした。

ちょうど同じ日、エルサレムの都を後にしたキリストの二人の弟子がおりました。一人はクレオパと呼ばれ、もう一人の名前は分かりません。二人はなにか論じ合い、話し合っていました。そこへ見知らぬ旅人が二人のそばに来て、「歩きながらやりとりをしているその話は何のことですか？」と聞きました。暗い顔をしていたクレオパは、「あなたは都に滞在していたのに、そこで起きた出来事を知らなかったのですか？」と聞きました。「何のことですか？」と見知らぬ人から逆に聞かれたクレオパは、「ナザレのイエスのことです。その方は行いにも言葉にも力のある預言者でした。

しかし、この方は、祭司長たちに引き渡され、十字架につけられて死刑となりました。私たちは、あの方がイスラエルを解放して下さると望みをかけていましたが、殺されて今日で三日目になります。婦人達や仲間の者が墓に行つて中を見ましたが、あの方の遺体は見当たりませんでした」と言いました。

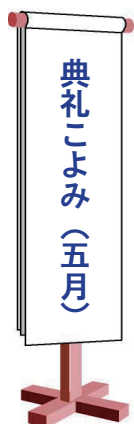
見知らぬ旅人は、「どうしてそんなに物わかりが悪いのか」と嘆いて、聖書全体にわたってメシアについて書かれていることを説明されました。目指していたエマオに近づき、見知らぬ旅人は、なおも先に行こうとされます。日が傾いてきた頃、二人は、「一緒にお泊まりください」と頼み、三人はある家に泊まるために入っていました。家に入って、食事の席につくと、旅人はパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いて渡してくれました。この時、二人の弟子は、「この方はナザレのイエス様だ」と思いました。その途端、見知らぬ旅人の姿をしたイエスは、お姿を消してしまいました。

復活したイエス様が、エマオに向かう二人のキリストの弟子のそばにやってきて、聖書全体にわたるメシアについての話をなさり、「証し」をなさったのだと思います。夕方になり、ある家に入って食事をする事になり、イエス様は、パンをとり、賛美の祈りを唱え、パンを裂いて、ご自分が主の晩餐をなさった時の姿を見せて、ご自分が復活されたことを「証し」しようとなさったのだと思います。

復活の信仰は、ご受難の苦しみをなめつくされたイエス様の、断腸の思いに目を向け、その悲しみを追体験しようとしたとき、御父によって復活したイエス様の喜びのほんのひとかけらが分かるのではないかと思います。

受難の苦しみを、地を這うような思いで耐えたイエス様は、苦しみの中で手を伸ばしている人を支えようとなさいました。この為になさったことが、復活したイエス様の証しではないかと思います。

交わりとしての教会の実現を目指す私たちは、今、祈る力を育てること、信仰を伝える力を育てること、神の愛をあかしする力を育てることについて、小教区(教会)の中に具体化する手だてをさぐっていますが、復活の信仰をあかしする手がかりは、そうした所にあるのではないかと思います。



日	曜		ミサ・勉強会	備考
1	日	復活節第 2 主日	主日ミサ (9 時)	
6	金		初金ミサ (10 時)	掃除
7	土		主日ミサ (18 時)	
8	日	復活節第 3 主日	主日ミサ (9 時)	
14	土		主日ミサ (18 時)	掃除
15	日	復活節第 4 主日	主日ミサ (9 時)	
21	土			掃除
22	日	復活節第 5 主日	子どもと共に捧げるミサ (10 時)	
28	土			
29	日	復活節第 6 主日	主日ミサ (9 時)	典礼ミーティング

入信の秘跡 (於 4 月 23 日復活徹夜祭)

4 月 23 日 (土) の復活徹夜祭ミサにて、次の方々が「入信の秘跡」(洗礼、堅信、聖体) を受けられ、参列者全員で喜びを分かち合いました。 おめでとうございます。

- ・マリオ 名取 一義 様
- ・マルタ 今井 暁子 様



信徒の会：船水さんにお話しして頂きました (4 月 17 日)

4 月度の「信徒の会」例会が 17 日のミサ後に開催され、今回は中和田信徒の船水奎吾^{ふなみすけいご}さんに、長年に亘って携わってこられた建築のお仕事についてお話し頂きました。途中からは中高生会の皆さんも合流して、総勢 25 名の信徒が船水さんのお話を熱心に伺いました。

お話の内容は、私たちに日ごろ馴染みの深い『横浜ベイブリッジの建設』を切り口として、橋の種類や構造から説き起こして、分かりやすく説明して下さいました。また、建設現場の実際については、記録ビデオ映像を観ながら、苦労話も交えてお話下さいました。

全体を通して、信仰に裏打ちされた、船水さんの仕事に対する真摯な取り組み姿勢、ご自身のライフワークへの熱意と深い思い入れ、やり遂げた喜びと達成感、などをお話の端々から感じる事が出来ました。有難うございました。

船水さんは、現在まだ病氣療養に専念しておられますが、今回のお話し会は、船水さんのご厚意で実現できたことを申し添えます。



尚、次回の 5 月の例会は、再び『介護』をキーワードにした分ち合いを行なう予定です。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

《注》船水さんは、2010 年 8 月に東京教区・築地教会から中和田教会に転籍されました。

(小野 雅彦、 岩崎好愛)

どうぞよろしく



名取一義

みなさんのお恵みをいっぱい、いっぱいいただいてうれしいです。

これからも宜しく願います。

受洗のよろこび



今井暁子

この度、復活徹夜祭の入信の秘跡にあずからせて頂くことができ、ここに至るまでの長い心の旅路を思い起こすと喜びと感慨もひとしおです。縁があってカトリック信者の主人と結婚しましたが、私の生家が寺だったこともあり、信者になるには相当な葛藤があって35年も経ってしまいました。

きっかけは主人が膵臓癌の告知を受けたことです。人間がいかにか弱く存在であるかを実感として気付かされた私は、主人を引っ張るようにして中和田教会を訪ねました。それから8カ月後主人が亡くなり、毎週水曜日の聖書の会に参加するようになりました。答唱詩編や福音の箇所を読んでメンバーの皆様が率直に話されるのをお聞きすると、感銘し勇気づけられましたし、私も自由に感じたことを話させて頂くことで随分と心の痛みを癒して頂きました。聖書の会は何よりも聖書を通して神様のことを聴く会ですから、私にとっては極上のカウンセリングの場でした。

どっちを向いて生きればいいのか、生きる意味さえも見失いそうになっていた時、中和田教会の皆様に出会えたことは本当に幸せなことです。小林神父様がおっしゃるように、主人の死も神様のお恵みなのだと思うようになりました。35年もの間待ち続け、私という頑固者を受け入れてくださった神様の大きな愛に応えられるよう第二の人生を歩んで行こうと思います。

どうぞ皆様今後ともよろしく願い申し上げます。

岩淵委員長の コラム



■ 御復活おめでとうございます。聖週間から復活祭とパーティーまで、多くの方々の御尽力で無事に終了致しました。準備に当たられた皆様に心より御礼申し上げます。

■ 日頃より東北関東大震災の被災者の方々へのお祈りや義援金等で御協力を頂き、有り難うございます。少しずつ復興に向けて動き出していますが、まだまだ大変な状況です。募金箱は9月頃まで聖堂に置かせて頂きますので、これからも宜しく願い致します。

■ 祭壇と信徒席のリニューアルを進めて参りましたが、キリスト像、祭壇、朗読台、神父様と侍者の椅子、祭器卓、信徒席等、新しい備品が設置されました。東北関東大震災の影響で、一部の部材が津波に流されて入手できず、復活祭前の納入が厳しい状況にありましたが、中和田教会のためにと大川さんが大変がんばって下さいました。祈りの場としての御聖堂の雰囲気も格段に良くなり、新しい気分で御復活を迎えることができました。正面の壁に貼るボード等今回間に合わなかった部分の工事が完成しますと、木のイメージで統一され更に雰囲気が改善されることになると思います。設計、製作、据え付けに当たられた大川さんはもちろん、二年間にわたり聖堂のリニューアルを検討してこられた教会建物を考える会の方々にお礼を申し上げたいと思います。

教会建物を考える会には、これからも引き続き必要な設備の拡充等、活動を継続して頂きますが、予算面の制約もあり、皆様のご要望に沿って優先度を設定しながら一步一步進めて行きたいと思っています。どんなことでも結構ですので、ご要望がありましたらご遠慮なく私や建物を考える会のメンバーにお話し頂ければ幸いです。

■ 前庭のマリア様の像の塗装が古くなり、一部剥がれかけたり汚れたりしていましたが、ベトナムの方々がペンキを塗り補修して下さいました。まだ完成ではありませんが、ずいぶんきれいになりました。どうも有り難うございました。

なか わだ の 声



震災一ヶ月 鶴岡八幡宮で祈る

去る4月10日(日)山口神父様が聖堂でお知らせ下さった時から「行こう」と決めました。かの地に親族・知人無き身にはいまいちひびくものが不足でした。

神道、佛教、キリスト教各派の祈りのうちに被災者の方々に届くものと確かな思ひに満たされました。

柵の傍らで二重三重に取り巻き手を合わせる参拝者の方々ともつながるひと時でした。

段葛から由比ヶ浜海岸まで、托鉢、ロザリオにて進み、海に向う祭壇での祈り、献香と、「来られて良かった」心地よき疲労と豊かさのうちに帰路につきました。

(匿名希望)



↑ 中央が山口師



《注》 4月11日に举行された「東日本大震災追善供養復興祈願祭」、カトリック新聞4月24日号2頁参照

教会からのお知らせ（訃報）

4月1日に、

ヨゼフ 阿部 克己 様

が帰天されました。（享年87歳）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



委員会だより

(文中敬省略)

△4月9日(土) 11名出席▽

小林神父の話

《祈り》

東北大震災 被災者に希望が与えられ、支援が届きますよう、祈りましょう



・4月3日に(中和田)聖堂改修を受託している(大川)さんが来られ、聖堂改修の納期延期に関する説明を受けた。(大震災の影響で、建材の入手が困難になったのが理由)

・共同回心式の指導司祭は、既に連絡の通り雪ノ下教会協力司祭の山口道孝師にお願いしてある。講話のテーマは「聖木曜、聖金曜、聖土曜の典礼の意味と、復活祭を迎える私たちが回心したいこと」。

・終了後、昼食会の形で中高生と懇談の機会を持って頂くことで、山口師には了解を頂いている。

・聖地のための献金の周知(4月22日の聖金曜日)

・5月14日に東京カテドラル(関口教会)で『教皇ヨハネ・パウロ二世列福感謝ミサ』が挙行される。本件は、掲示ならびに「ミサ後のお知らせ」で信徒に周知する

・来年は、横浜教区設立75周年であり、記念の感謝ミサをはじめ、いろいろな行事が企画・実施される予定。

各グループからの報告

●典礼(下村)

・(掲示してある登録用紙にはまだ誰も記入していないが)聖週間の典礼奉仕者の協力をお願いしたい。教会委員朗読協力願いたい。

・聖木曜日の洗足式は、小林神父の意向で『洗足してもらうことを希望する人』を集めてやることとする。

・5月29日の「典礼ミーンティング」では、

葬儀マニュアルに準拠して「通夜式のリハーサル」を試行する。

・聖週間には典礼補足一別資料説明コピーして奉献台に置いておく

●宣教(井上、石井(悠))

・6月11日(土)に鍛冶ヶ谷教会で開催される「湘南キリスト教セミナー」申込用紙も出来て来たので、参加者募集を開始する。(井上)

・栄光学園で開催する運動会の内容はリーダー会で煮詰まって来ている(井上)

・堅信の勉強会は、まだ立上ったと言えないレベルではない。(石井(悠))

・親と当人と両方に正式文書を出す必要があるのではないかと。再度チャレンジして欲しい。(小林神父)

・4月10日のミサ後に、要理学校のメンバーを紹介したい。(要理学校石崎)→司会を決めて欲しい(小林神父)

●建物/営繕(福島)

・復活前の大掃除は、業者委託の掃除(床ワックスがけと高所清掃)は4月20日(水)、信徒による掃除は4月23日(土)に実施する。

・会衆席が新しい木製の椅子となることに伴って、現在のパイプ椅子の処置が必要となるが、物いれがついている40脚を残して、あとは処分する方向(3月27日建物を考える会)

・聖堂のマイク・アンプの問題に関して検討中(赤外線マイクを併用することも検討)

・新集会室の間仕切りは、3月19日に撤去した

●福祉(中島)

・いつも教会に来られない方々に教区報を送っているが、今月は復活祭のはがきも併せて送った

・今月は、義援米に加えてカレーの肉をバーク神父のグループへ送った(肉は、いつも武田安光さんにご提供を頂いている)。

・「愛のビン」に入れて頂いている義援金は「愛の献金」に加えて取り扱う。

●行事(武田(幸))

・復活祭パーティ準備は、A地区中心で進めている

・バザーの計画については、5月から開始する

●総務(小山(恭))

・連絡網の流し方に関する議論あり(特に訃報の場合について) → 継続審議

●財務(甲斐)

・月次財務資料の説明→特記事項はとくになし

・建設会計の表記法(勘定科目の設定)について指摘あり → 別途検討

●広報(小野) 特記報告事項なし

●信徒の会(小野)

・3月の例会では、『介護』をキーワードとした打ち合いを行なった。内容、雰囲気などについては、広報4月号に掲載してあるので読んで頂きたい。(介護関連は、世代を超えて関心の高いテーマであり、あと数回このテーマで打ち合いを行なっていく予定)

報告事項

●月修資料説明(岩淵委員長)

・「横浜教区における小教区ホームページ規約」が新たに出来た(本年4月1日発効)。この新しい規約に照らし、中和田ホームページに問題はない。(委員長)

・「聖体奉仕者研修会」に関連して：：聖体奉仕には、いろいろなパターンがあつて、難しい課題が多い(特に家庭訪問)。神父、教会委員長、典礼委員で詰めさせて欲しい(典礼委員)

・「共同宣教司牧チーム神奈川」の各研修コースと、各グループの活動を繋げて、参加者をより具体的に絞っていく。また、絞込みに際しては、既受講者の意見も聞いていく。

●外国籍の方々との対話状況(下村)

・3月20日に、ベトナムの方々と以下の内容を中心に話をした。

○中庭の聖マリア像の塗装補修でご奉仕頂けること、

○基本認識の差異(小教区への帰属、及び月定献金などへの考え方)

○土曜日に仕事のあるメンバーが多く、土曜日の清掃ご奉仕には参加出来ないが、日曜日であれば可能性あり。

○次回以降で、駐車場管理などについても相談する。

討議事項

●5月度教会予定の確認

●義援金の送り先

・議論の結果、義援金第1弾の送付先については、仙台教区とカリタスジャパンの双方に半々の比率で送ること

に決定。

・今後の第2弾の送り先については、日赤含めて検討していく。

●小教区の被災者避難所提供について(横浜教区/難民移住移動者委員会からの問合せ)

・中和田教会の実態に鑑み、避難場所提供という直接的な対応は残念ながら出来ない。この旨回答する。

●(財)日本聖書協会の募金部から、中和田を訪問したい旨要望が寄せられている。背景など調査の上対応する。

(次回は5月8日)

以上

総務からお願い

●転入・転出の際は、証明書が必要です。主任司祭または総務にお申し出下さい。

●住所を変更された際にも、総務にご連絡をお願いします。

●聖堂内の会衆席が、新しい木製の椅子に変わりました。お掃除に際しては、濡れた雑巾を使わずに、「乾拭き」でお願いします。